

【当面の取組方針】

本県における死因究明等を推進するため、本県の現状と課題を踏まえて、協議会における基本的な取組事項を次のとおり整理し、各構成団体が関連する取組を進める。

また、協議会において、毎年度、基本的な取組事項を踏まえた、各構成団体の取組予定及び取組実績の取りまとめを行い、今後の取組方針を検討、取組を進めていく。

(1) 基本的な取組事項

	項目	岩手県の現状と課題	対応の方向性
1	死因究明等に係る人材の育成	検案医師、歯科医師の確保及び人材育成 県内の検案の嘱託医師は17名、高齢化が進み、次の世代の医師の確保が課題	・ 検案医の確保・育成（輪番制の検討 など）
具体的な取組等	・ 検案医師、歯科医師の確保・育成のための研修等の実施【検案医会、医師会、歯科医師会】 ・ 人材確保・育成のための各地域の取組事例（輪番制の導入等）の他の地域への共有【検案医会、医師会、歯科医師会】		
2	警察等における死因究明等の実施体制の充実	現病歴情報、処方薬情報の早期把握 現病歴・既往歴は、死因を特定するうえで重要な情報であり、早期の把握が必要	・ 現病歴情報等の把握状況の確認及び整理
具体的な取組等	・ 検案及び法医解剖時に必要な医療情報の整理【医大、県警、海上保安部】 ・ 検案及び法医解剖時に医療情報提供に関わる全国的な動向の把握・法的根拠の整理【県警、海上保安部】 ・ 医療情報提供に係る具体の事例（提供可、提供不可の例）を踏まえた課題等の整理【県警、海上保安部】 ・ 医療情報の提供に係る県内の主要な病院に対するアンケート等の実施【医大、県警】 （必要な医療情報項目及び依頼文書を提示し、医療機関が情報提供するために必要な事項を確認、休日対応の可否・休日に提供可能な事項の確認）		

	項目	岩手県の現状と課題	対応の方向性
3	死体の検案及び解剖等の実施体制の充実	検案医師、歯科医師の確保及び人材育成（再掲）	・ 検案医の確保・育成
		大規模災害時の対応 東日本大震災津波の教訓を踏まえた連携体制の維持と災害等の状況の変化に応じた定期的な見直しが必要	・ 大規模災害に備え、より多くの医療従事者の訓練参加 ・ 市町村の状況確認と防災担当課との連携のあり方を検討
具体の取組等		<人材の確保・育成（再掲）> ・ 検案医師、歯科医師の確保・育成のための研修等の実施【検案医会、医師会、歯科医師会】 ・ 人材確保・育成のための各地域の取組事例（輪番制の導入等）の他の地域への共有【検案医会、医師会、歯科医師会】 <大規模災害時の対応> ・ 大規模災害に備えた災害対応に係る資質向上のための医療従事者の訓練参加【検案医会、医師会、歯科医師会】 ・ 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震などの大規模災害発生時における死因究明・身元確認体制の確認【医大、市町村、県】 （日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の被害想定の整理、災害時の連携体制の確認、各地域の遺体安置所設置可能箇所及び死因究明・身元確認に必要な機材の準備状況の確認）	
4	死因究明のための死体の科学調査の活用	死亡時画像診断の実施率の向上 死亡時画像診断の実施率（県警）は、過去10年で2017年の33％が最高値で、これ以外の年は約30％前後で推移。より正確な死因判断のため実施率の向上が必要	・ 死亡時画像診断が必要な例の整理 ・ 地域ごとの現状把握
具体の取組等		・ 死亡時画像診断が必要な事例の整理【県警、医大】 ・ 死亡時画像診断の活用・有用性について検案医師、歯科医師への勉強会等を実施【医大、検案医会、医師会、歯科医師会、県警】 ・ 死亡時画像診断に係る地域ごとの現状・課題を整理し、死亡時画像診断の実施体制の充実に向けた対応策を検討【医大、医師会、歯科医師会、県】	

2

項目		岩手県の現状と課題	対応の方向性
5	身元確認のための死体の科学調査の充実及び身元確認の円滑化	身元確認の円滑化 通院（歯科）履歴の判明により、死者の身元特定を迅速に行うことが可能であることから、生前情報の収集が重要 東日本大震災津波の教訓を踏まえた連携体制の維持と災害等の状況の変化に応じた定期的な見直しが必要	・通院先（歯科）把握の状況の整理
		大規模災害時の対応（再掲）	・大規模災害に備え、より多くの医療従事者の訓練参加 ・市町村の状況確認と防災担当課との連携のあり方を検討
具体の取組等	< 身元確認の円滑化 > ・身元確認の円滑化に向けた歯科情報の収集の検討【医大、歯科医師会】		
	< 大規模災害時の対応（再掲） > ・大規模災害に備えた災害対応に係る資質向上のための医療従事者の訓練参加【検案医会、医師会、歯科医師会】 ・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震などの大規模災害発生時における死因究明・身元確認体制の確認【医大、市町村、県】 （日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の被害想定の整理、災害時の連携体制の確認、各地域の遺体安置所設置可能箇所及び死因究明・身元確認に必要な機材の準備状況の確認）		
6	死因究明により得られた情報の活用	・死亡時画像診断や解剖結果を県医師会、県歯科医師会等への共有し検案医師、歯科医師の資質向上に活用 ・児童虐待が疑われる事案に係る児童相談所等への情報共有と連携	
具体の取組等	・死亡時画像診断や解剖結果の検案医師や歯科医師の研修等への活用の検討【医大、検案医会、医師会、歯科医師会】 ・各種会議等を通じた児童相談所との情報共有・連携【医大、県】		

3

(2) 令和5年度のスケジュール（予定）

- 各団体の取組予定のまとめ（第1回）
- 各団体の取組実績及び翌年度の取組方針の確認（第2回）

